

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名

【 熊本県 】 熊本市立白山小学校

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	5・6年生 201 名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習 ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運を高める。</p> <p>6 年生：オリンピックの夢に向かう姿勢を学ぶ</p> <p>5 年生：オリンピック・パラリンピックについて学ぶ</p>
5 取組内容	<p>オリンピックによる講演会及び実技指導</p> <p>平成30年2月1日（木）に本校にて、伊藤華英氏（オリ競泳：背泳ぎ）を迎え、ICT を活用した特別授業を行った。</p> <p>【6 年生授業内容】</p> <p>電子黒板に児童から事前に集めた質問を表示し、伊藤氏に回答してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃の夢は獣医だったが、1 人のコーチとの出会いでオリンピックを目指そうと思った。 ・2004 年のアテネ五輪の代表を逃したときには、自分のおごりや弱さ、信念を持つことの大切さに気づいた。 ・オリンピックでは、街中がオリンピックに染まっていて、平和の祭典であると感じた。パラリンピックは可能性の祭典。オリンピック出場という夢が叶ったが、その先には、さらに夢があるんだと感じた。 ・スランプのときには外国の友達が自分を振り返ることの大切さに気づかせてくれ、自分を自分で肯定できるようになった。 ・今の生きがいはサーフィン。楽しむためのスポーツができています。 ・夢を叶えるためには悔しさを忘れないこと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・緊張は自信によっていいパフォーマンスにつながる。 ・オリンピックに出られていなかったとしても、納得できるだけの努力はしていたので、仕方ないと思えたと思う。 ・夢を持つことは大切。そして、それに向かうプロセスが大切。 <p>【5年生授業内容】</p> <p>オリパラに関する事項をクイズ形式で電子黒板に出題し、児童は班で相談して回答する。伊藤氏に解説や説明してもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五輪のマークは五大陸がつながっていることを示しており、背景の白も入れた6色で、世界中の国旗がすべて描けるという意味がある。 ・パラリンピックのマークはスリーアギトスで、白も入れて4色。アギト=私は動くというラテン語。始まりはリハビリだった。 ・クーベルタンがオリンピックの父、グッドマンがパラリンピックの父。 ・オリンピック開催国の紹介 ・平昌オリには熊本出身の鬼塚選手（スノーボード）が出場 ・オリンピックは33競技で、東京大会での追加種目を説明。 ・Be Positive…夢はでっかく、努力は足元に！ ・Be Humble…前向きに、謙虚に！
6 主な成果	<p>事前に子どもたちの質問を収集しておくことで、自分達の身近な疑問にオリンピックが答えてくれ、事業を通して自分の学校生活や生活の中に生かせる事業を実施することができた。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>子どもたちが自分の生活により身近な事業となるように、質疑応答形式で実施することができた。</p>
8主な課題等	<p>他のクラスむけにビデオ配信等も行ったが、実施するクラスが限られてしまった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>実施予定</p>